豊橋市自然史博物館研報　Sci. Rep. Toyohashi Mus. Nat. Hist., No. 21, 9–10, 2011

豊川市の外来淡水海綿マツモトカイメン

松岡敬二*

Alien freshwater sponge (Spongillidae: *Heterorotula multidentata*) of Toyokawa City, Japan

Keiji Matsuoka*

はじめに

オーストラリア原産の外来種マツモトカイメン *Heterorotula multidentata* は，岡山県の吉井川から日本で最初に確認された（益田ほか，1979）．その後，秋田県，長野県，愛知県，滋賀県，香川県から報告されている（石井・益田，2001；久米・益田，2002；益田・佐藤，2002；松岡・益田，2005）．愛知県内の記録は，豊橋市石巻町の水路からが最初の報告である（松岡・益田，2005）．

本論文では，豊川用水西部幹線水路から水が供給されている豊川市の 2 か所から新たにマツモトカイメンを採集したので，県内 2 例目の記録として報告する．

採集場所

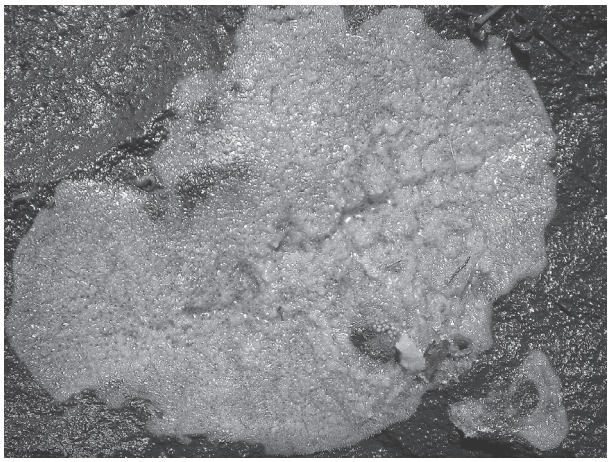
マツモトカイメンは，2010 年 3 月 30 日に豊川市市田町の赤塚山公園内の溜池である中池（北緯 34° 50′ 37″；東経 137° 21′ 45″，第 1 図），及び 2010 年 5 月 24 日に豊川市平尾町の駒場調整池から流下する西古瀬川（北緯 34° 51′ 3″；東経 137° 20′ 86″，第 2 図）から採集された．2 地点ともに新城市の豊川に設けられている大野頭首工から西側に分かれる豊川用水西部幹線水路から水が供給されている．赤塚山公園内の中池には，特定外来種カワヒバリガイ *Limnoperna fortunei* が大量に繁殖しており，マツモトカイメンはカワヒバリガイの殻の表面や礫・沈木に付着していた（第 3 図）．同所では，貝類としてはハブタエモノアラガイ *Pseudosuccinea columella*，ヌマガイ

第 1 図 . マツモトカイメンの採集地（赤塚山公園）．

第 2 図 . マツモトカイメンの採集地（西古瀬川）．

* 豊橋市自然史博物館．Toyohashi Museum of Natural History, 1-238 Oana, Oiwa-cho, Toyohashi 441-3147, Japan.
原稿受付　2010 年 11 月 13 日．Manuscript received Nov. 13, 2010.
原稿受理　2010 年 11 月 25 日．Manuscript accepted Nov. 25, 2010.
キーワード : マツモトカイメン , 淡水海綿，外来種，豊川市．
Key words : *Heterorotula multidentata*, freshwater sponge, alien species, Toyokawa City.

第 3 図. マツモトカイメン（赤塚山公園）.



第 4 図. マツモトカイメン（西古瀬川）.

Anodonta lauta を確認した．その他動物としては，テナガエビ *Macrobrachium nipponense*，コイ *Cyprinus carpio*，オオクチバス *Micropterus salmoides*，ブルーギル *Lepomis macrochirus*，ゲンゴロウブナ *Carassius cuvieri*，カマツカ *Pseudogobio esocinus*，コウライモロコ *Squalidus chankaensis tsuchigae* やミシシッピアカミミガメ *Trachemys scripta elegans* などが生息している（豊川市赤塚山公園，私信）.

西古瀬川は，豊川用水西部幹線水路の貯水池である駒場調整池から流下し，白川に合流し三河湾に注いでいる．マツモトカイメン（長径 3 cm）は，河床に散在する礫の裏面に付着していた（第 4 図）．この場所では，ヒルの仲間，カワニナ *Semisulcospira libertina*，ヒメタニシ *Bellamya* (*Sinotaia*) *quadrata*，アメリカザリガニ *Procambarus clarkii*，カワムツ *Nipponocypris temminckii* が確認された.

標　本：豊橋市自然史博物館で保管（TMNH-IV-00003, 00004）.

謝　辞

カイメンの同定をしていただいた川崎医科大学生物学教室の益田芳樹教授，調査に協力いただいた豊川市赤塚山公園（ぎょぎょランド）の前田民男，浅香智也，豊橋市自然史博物館の西　浩孝，豊橋市在住の松岡孝子，松岡知彦の各氏にお礼申し上げる.

引用文献

石井照久・益田芳樹，2001．秋田県初記録 2 種（シナカイメンとマツモトカイメン）を含む八郎潟の淡水海綿について．秋田大学教育文化学部研究紀要，自然科学（56）：25–34.

久米　修・益田芳樹, 2002．香川県の淡水海綿 3．香川生物,（29）：13–18.

益田芳樹・佐藤國康, 2002．岡山県の淡水海綿について（その 1）．川崎医会誌一般教,（28）：7–20.

益田芳樹・佐藤國康・梶田博司，1979．吉井川で採れた淡水海綿 *Heterorotula* sp. について．川崎医会誌一般教,（5）：113–116.

松岡敬二・益田芳樹，2005．豊橋市石巻町産の淡水海綿，マツモトカイメン．豊橋市自然史博研報,（15）：11–13.